

第1章

目黒区の概要

1

第1章 目黒区の概要

1. 目黒区の概要

(1) 地理的位置・地形・自然

目黒区は、東京 23 区の南西部に位置し、北は渋谷区、東は品川区、西は世田谷区、南は大田区と接しています。

区の面積は 1,470ha で、23 区中 16 番目の広さです。

目黒区は武蔵野台地の南東部に位置し、目黒川と呑川が、北西から南東に向かって樋（とい）状の谷を形成しています。また、これらの谷の支谷が台地を刻みこんでおり、起伏に富んだ坂の多い街が目黒区の特徴のひとつとなっています。

また、今日では周辺の自治体と同様に都市化・過密化が進行しており、豊かな自然環境に触れられる場所が少なくなってきています。

(2) 交通

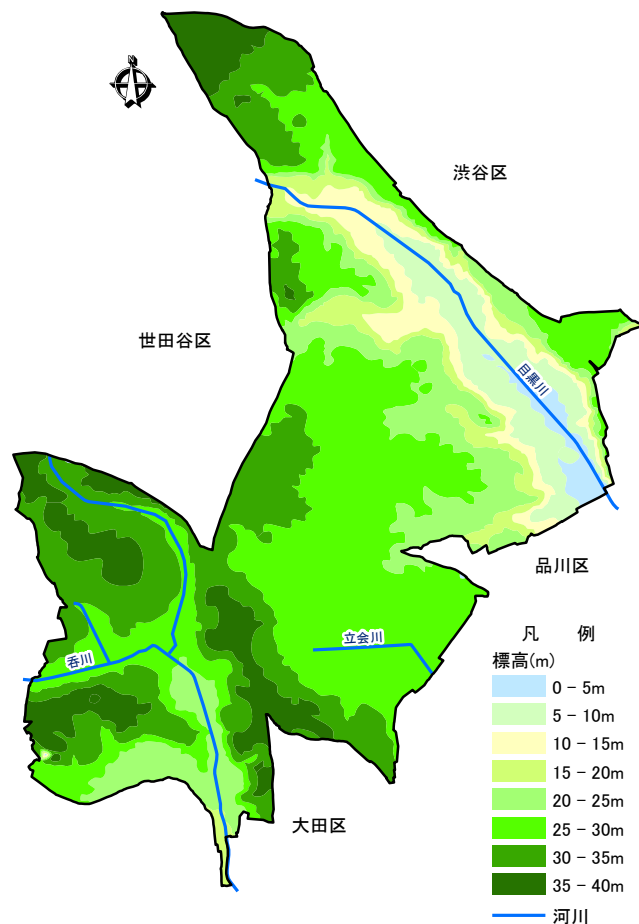
区内の主な交通機関は、区の中央部を東急東横線が南北に通っており、区民の主要な移動手段となっています。また、これとほぼ平行して北側に東急田園都市線、南側に東急目黒線が通っているほか、北を京王井の頭線、南を東急大井町線が通っています。

区内を通る主な幹線道路は、国道 246 号、駒沢通り、目黒通りが都心から南西方向へほぼ平行に通っているほか、これに直交する形で山手通り、環七通りが通っています。

(3) 目黒区の地区設定

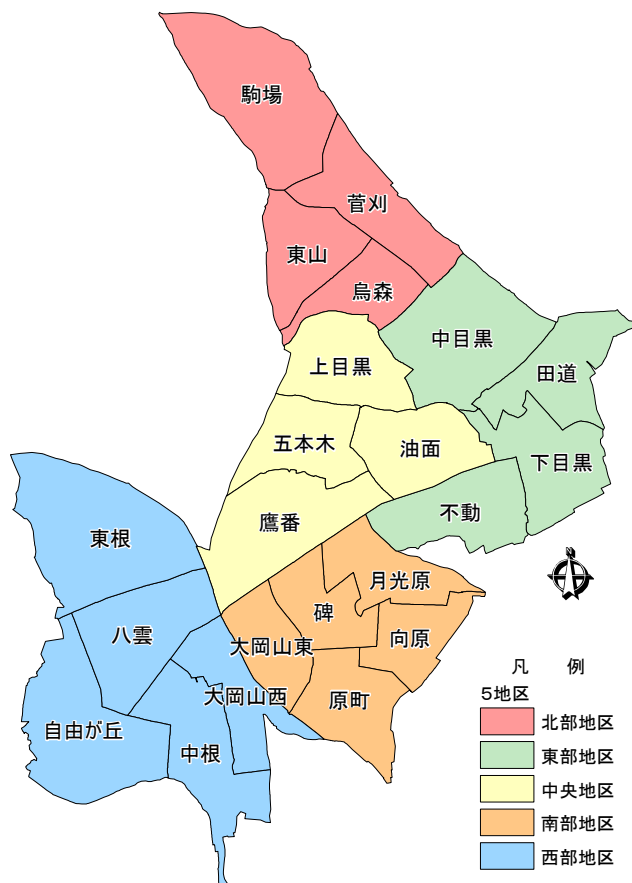
目黒区では、区民の日常生活に関わりの深い 22 の住区をもとに、5つの地区を設定しています。

また、町丁目は 88 の町丁目からなっており、これらの地区、住区、町丁目は、土地利用現況調査の集計単位にもなっています。



国土地理院の数値地図 50m メッシュ (標高) をもとに作成

目黒区の地形と水系



目黒区の 22 住区と 5 地区

2. 人口と世帯

(1) 人口

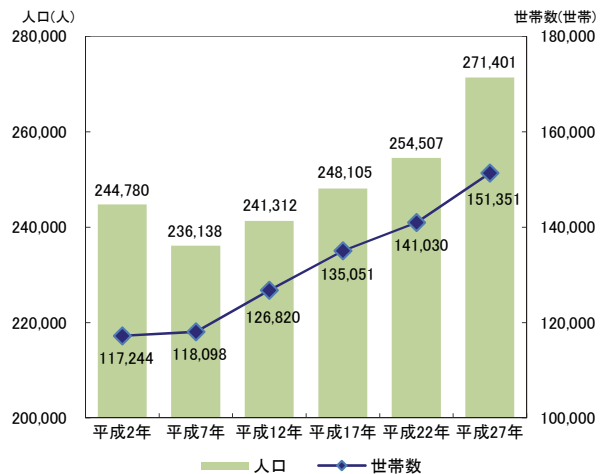
平成27年10月1日現在の住民基本台帳による区全体の人口は271,401人です。

5年毎の人口の推移をみると、平成7年以降は増加傾向が続いています。

町丁目別にみると、東山2丁目が多く6,593人、次いで大岡山1丁目が5,511人となっています。また、人口が最も少ない町丁目は、駒場2丁目575人、次いで駒場3丁目745人となっています。

人口・世帯数の推移

	人口 (人)	世帯数 (世帯)
平成2年	244,780	117,244
平成7年	236,138	118,098
平成12年	241,312	126,820
平成17年	248,105	135,051
平成22年	254,507	141,030
平成27年	271,401	151,351



人口・世帯の推移

(2) 世帯数

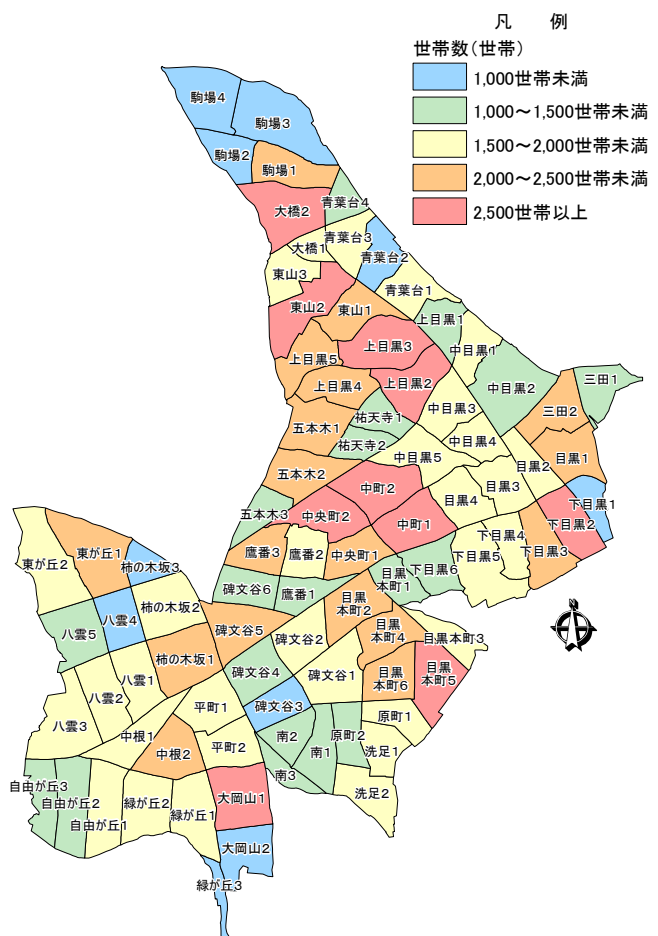
平成27年10月1日現在の住民基本台帳による区全体の世帯数は151,351世帯です。

5年毎の世帯数の推移をみると、平成2年から一貫して増加傾向が続いています。

町丁目別にみると、下目黒2丁目が多く3,307世帯、次いで上目黒3丁目2,998世帯となっています。また、世帯数が最も少ない町丁目は、人口と同じく駒場2丁目349世帯、次いで駒場3丁目400世帯となっています。

町丁目別人口・世帯数の比較

	人口(人)		世帯数(世帯)	
	目黒区	271,401	目黒区	151,351
上位	1 東山2	6,593	下目黒2	3,307
	2 大岡山1	5,511	上目黒3	2,998
	3 上目黒3	5,287	目黒本町5	2,944
	4 下目黒2	5,276	大岡山1	2,759
	5 目黒本町5	5,148	上目黒2	2,719
下位	84 大岡山2	1,320	大岡山2	730
	85 青葉台2	894	緑が丘3	516
	86 緑が丘3	874	青葉台2	474
	87 駒場3	745	駒場3	400
88 駒場2	575	駒場2	349	



町丁目別世帯数

(3) 人口密度

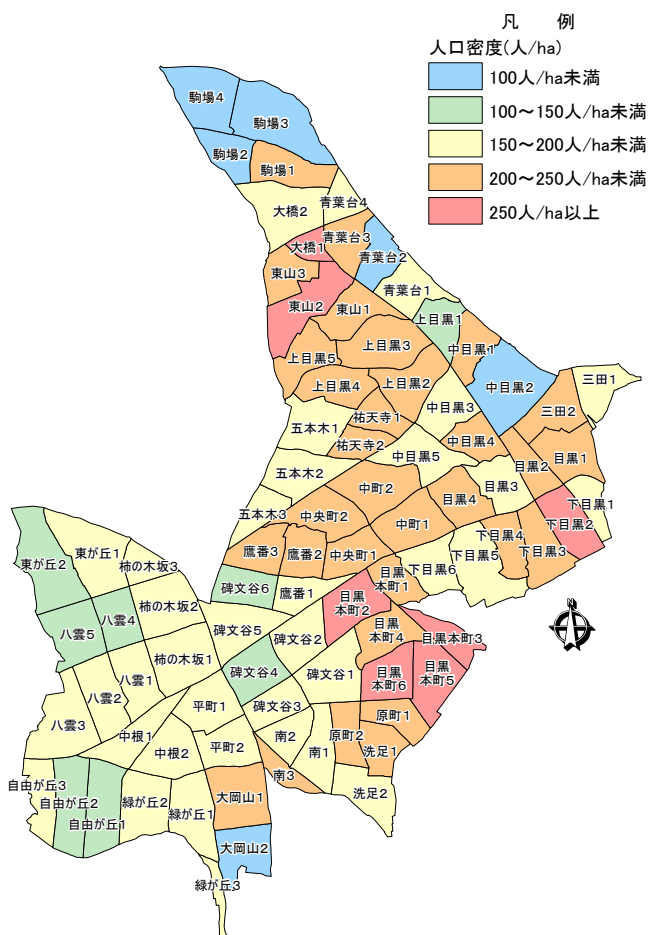
平成 27 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳による区全体の人口密度は 184.6 人 /ha です。

町丁目別にみると、大橋 1 丁目が高く 439.0 人 /ha、次いで下目黒 2 丁目が 302.7 人 /ha となっています。また、人口密度が最も低い町丁目は、駒場 3 丁目と 23.3 人 /ha、次いで駒場 2 丁目と 43.7 人 /ha となっています。

町丁目別人口密度の比較

	H27 人口密度 (人 /ha)		H22 人口密度 (人 /ha)	
	目黒区	184.6	目黒区	173.1
上位	1 大橋 1	439.0	東山 2	289.1
	2 下目黒 2	302.7	目黒本町 3	273.9
	3 東山 2	282.8	目黒本町 5	271.7
	4 目黒本町 5	272.1	目黒本町 4	250.1
	5 目黒本町 3	270.8	大橋 1	249.4
下位	84 大岡山 2	75.6	中目黒 2	74.2
	85 駒場 4	70.6	青葉台 2	66.5
	86 青葉台 2	67.0	駒場 2	64.8
	87 駒場 2	43.7	駒場 4	56.0
88 駒場 3	23.3	駒場 3	22.9	

※人口密度は、住民基本台帳データが平成 22 年は日本人のみで集計されているのに対し、平成 27 年は外国人を含む人口で集計されていることから、算出結果の数値を単純に比較することはできません。



町丁目別人口密度

(4) 人口増減率

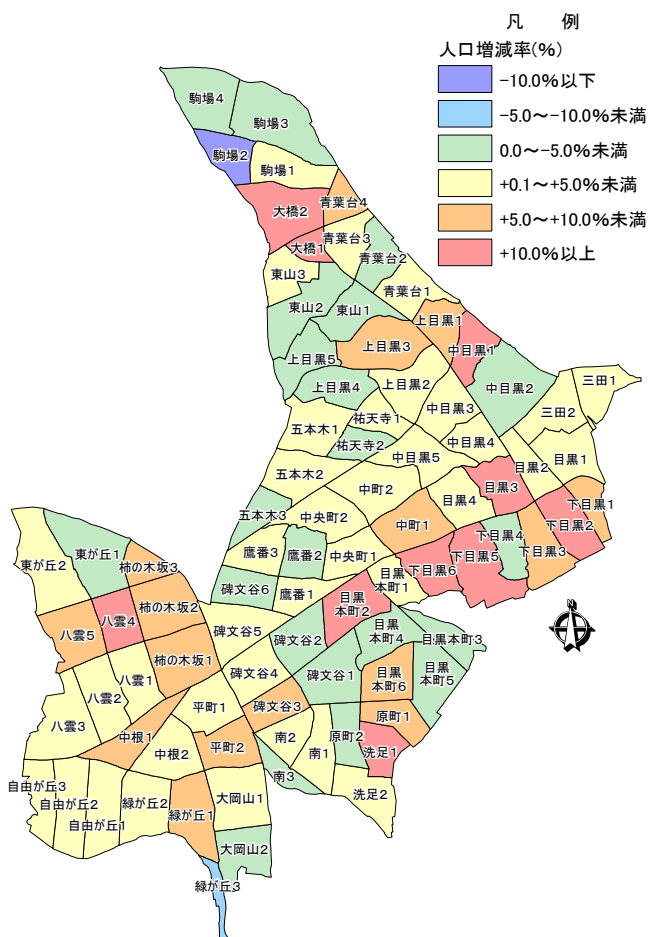
平成 22 年と平成 27 年（日本人のみ）の人口を比較すると、目黒区全体では 3.6% 増加しています。

区内全 88 町丁目のうち人口が増加しているのは 64 町丁目、全体の約 73% となっています。このうち増加率が最も高い町丁目は、大橋 1 丁目と 69.7%、次いで下目黒 6 丁目と 30.5% となっています。また、減少率が最も高い町丁目は、駒場 2 丁目と -37.0%、次いで緑が丘 3 丁目と -5.0% となっています。

町丁目別人口増減率の比較

	H22-H27 人口増減率 (%)	
	目黒区	3.6
上位	1 大橋 1	69.7
	2 下目黒 6	30.5
	3 下目黒 2	19.2
	4 洗足 1	16.1
	5 下目黒 5	13.1
下位	84 中目黒 2	-3.4
	85 五本木 3	-4.3
	86 青葉台 2	-4.8
	87 緑が丘 3	-5.0
88 駒場 2	-37.0	

※人口増減率は、平成 22 年の住民基本台帳データが日本人のみで集計されていることから、平成 27 年についても日本人のみの集計結果を用いて算出しています。



町丁目別人口増減率

(5) 年齢階層別人口

平成27年10月1日現在の住民基本台帳による年齢3階級別の人口比率をみると、年少人口（14歳以下）が10.6%、生産年齢人口（15～64歳）が69.5%、老年人口（65歳以上）が20.0%となっています。

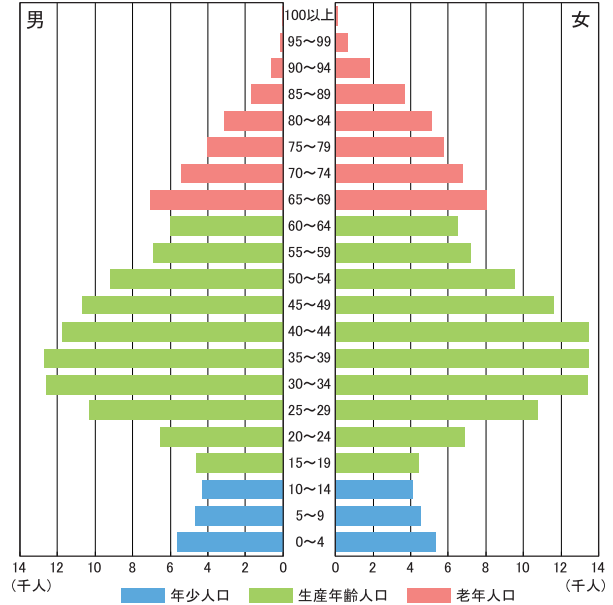
年齢区分毎の人口構成をみると、年少人口では0～4歳が最も多くなっています。また、生産年齢人口では35歳～39歳、老年人口では65歳～69歳が最も多くなっています。

年齢区分別の構成比を全国値（平成27年国勢調査）と比較すると、生産年齢人口の割合が全国値より8.8ポイント高くなっている一方、年少人口及び老年人口の割合は全国値を下回っています。

男女の構成比をみると、年少人口では女性より男性が多いのに対し、生産年齢人口及び老年人口では、男性よりも女性が多くなっています。

年齢3階級別人口及び構成比

	平成27年			参考：全国値 (国勢調査)
	男	女	男女合計	
	(人)	(人)	(人)	(%)
年少人口	14,660	13,996	28,656	10.6
生産年齢人口	91,249	97,328	188,577	69.5
老年人口	22,159	32,009	54,168	20.0



年齢階層別人口

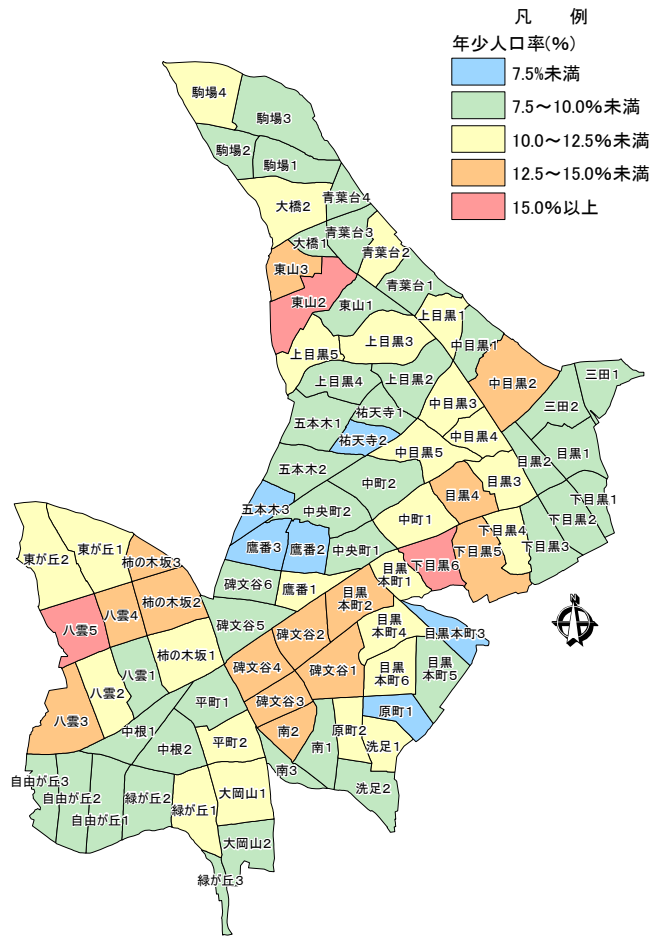
ア. 年少人口率

平成27年の目黒区全体の年少人口率は10.6%で、全国値より2.0ポイント低くなっています。

町丁目別にみると、東山2丁目が高くて22.9%、次いで下目黒6丁目15.9%となっています。また、年少人口率が最も低い町丁目は、鷹番3丁目5.6%、次いで祐天寺2丁目5.7%となっています。

町丁目別年少人口率の比較

		年少人口率 (%)	
		目黒区	10.6
上位	1	東山2	22.9
	2	下目黒6	15.9
	3	八雲5	15.2
	4	下目黒5	14.9
	5	碑文谷3	14.7
下位	84	目黒本町3	6.8
	85	鷹番2	6.6
	86	原町1	6.6
	87	祐天寺2	5.7
	88	鷹番3	5.6



町丁目別年少人口率

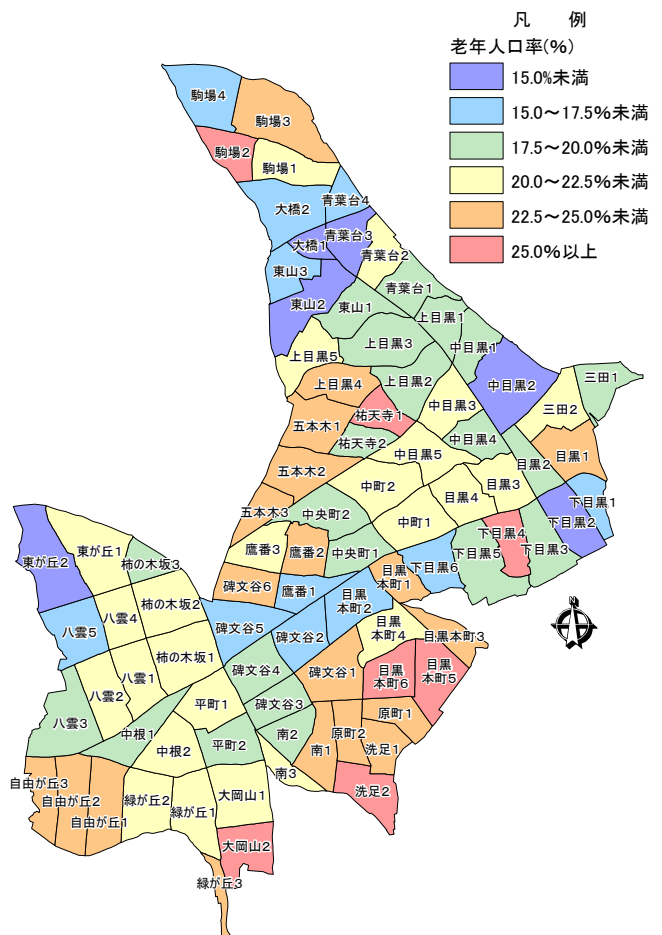
イ. 老年人口率

平成 27 年の目黒区全体の老年人口率は 20.0% で、全国値より 6.6 ポイント低くなっています。

町丁目別にみると、祐天寺 1 丁目が最も高く 26.7%、次いで洗足 2 丁目 が 26.4% となっています。また、老年人口率が最も低い町丁目は、年少人口率が最も高い東山 2 丁目 で 6.0%、次いで中目黒 2 丁目 が 6.9% となっています。

町丁目別老年人口率の比較

		老年人口率 (%)	
		目黒区	20.0
上位	1	祐天寺 1	26.7
	2	洗足 2	26.4
	3	大岡山 2	25.8
	4	下目黒 4	25.7
	5	目黒本町 5	25.6
下位	84	東が丘 2	14.5
	85	青葉台 3	11.6
	86	大橋 1	11.4
	87	中目黒 2	6.9
88	東山 2	6.0	



町丁目別老年人口率

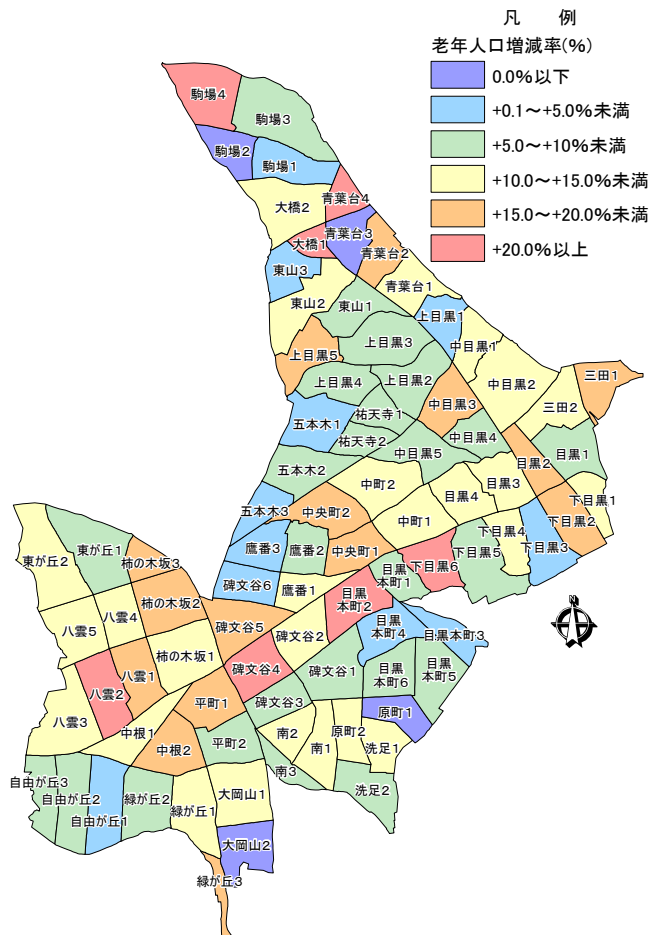
ウ. 老年人口増減率

平成 22 年と平成 27 年（日本人のみ）の老年人口を比較すると、目黒区全体では 10.6% 増加しています。

区内全 88 町丁目のうち老年人口が増加しているのは 84 町丁目、全体の約 95% となっています。このうち増加率が最も高い町丁目は、目黒本町 2 丁目 で 34.0%、次いで大橋 1 丁目 が 33.6% となっています。また、減少率が最も高い町丁目は、駒場 2 丁目 で -2.0%、次いで原町 1 丁目 が -1.8% となっています。

町丁目別老年人口増減率の比較

		H22-H27 老年人口増減率 (%)	
		目黒区	10.6
上位	1	目黒本町 2	34.0
	2	大橋 1	33.6
	3	青葉台 4	28.7
	4	下目黒 6	27.5
	5	八雲 2	23.6
下位	84	東山 3	1.3
	85	大岡山 2	-0.9
	86	青葉台 3	-1.2
	87	原町 1	-1.8
88	駒場 2	-2.0	



町丁目別老年人口増減率

※老年人口増減率は、平成 22 年の住民基本台帳データが日本人のみで集計されていることから、平成 27 年についても日本人のみの集計結果を用いて算出しています。

